

★新着ニュース

JA 下関担い手組織協議会が水稻・麦技術力向上研修会を実施しました。

下関農林事務所農業部

平成29年5月17日(水)、JA下関管内の集落営農法人が構成員となっているJA下関担い手組織協議会の主催で、水稻と麦の技術力向上研修が開催されました。

開催に先立ち、協議会の浅野東雄会長(農事組合法人久野ファーム代表理事)が、「昨年度の栽培の反省点が改善し、より良い品質で収量が上がるよう、しっかり研修しましょう」とあいさつされました。

水稻の研修では、JA下関の営農指導員が気象変動に左右されない下関産米づくりを目指した「9つの重点項目」の実践について説明しました。特に、平成28年度の米食味ランキングで山口県西部(美祢市、下関市、長門市)が特Aを取得した品種「きぬむすめ」の栽培ポイントについては、早植えを避け、葉色が淡くなる前に追肥を施用し登熟を向上させるようアドバイスがありました。

また、麦の研修では、県下関農林事務所農業部職員が、ビール大麦「サチホゴールド」や小麦「ふくさやか」の収穫適期について説明しました。座学後、農事組合法人うついの麦栽培ほ場へ移動し、実物を見ながら出席者全員で生育状況や収穫時期についての目合わせを行いました。

「サチホゴールド」は5月12日から、「ふくさやか」は6月初旬頃から収穫が開始されます。

下関農林事務所では、今後も地域農業の核となる担い手組織への支援を継続して行うこととしています。



【研修会の様子：座学(左)と現地研修(小麦(右上)・大麦(右下))】

《お問い合わせ先》

下関農林事務所農業部

TEL : 083-766-1206 FAX : 083-766-1184 メール : a17107@pref.yamaguchi.lg.jp